

くらしのメニュー おたより 26号

私のひとりごと

石丸博巳

先日、今年の3月に震度6強の地震に見舞われた輪島市の門前地区に福祉の研修で行って来ました。

福祉の研修ですから、地震が発生した直後の安否確認やその後の高齢者に対するケアのことの勉強です。

門前地区にある曹洞宗大本山の総持寺を先に見学しましたが、古い伽藍のいたる所に大きな被害が残っています。地割れによる土間の亀裂や、傾いて倒れそうな御堂の無残な姿。檀家の数が少ないため資金も集まらず、改修の目途さえ立っていないのが現状のようです。

最も被害が大きかった黒島地区では、改修不能な建物は取り壊され、見た目は以前のような穏やかな集落に戻っていましたが、多数の人が仮設住宅で生活をされています。

地震直後、高齢者の見守り活動のネットワークによって即座に一人暮らしの高齢者などの安否の確認ができ、非難活動もスムーズに行われたとの事でした。昨年、偶然この地区で地震を想定した避難訓練が行われ、行動がマニュアル化されていたことも偶然の幸いだったようですが、日頃の安否確認の活動の大切さを身にしみて感じたそうです。

地域の人達のつながりの希薄さが、たくさんの暗い事件を引き起こす原因となっているこの頃ですが、地区の人々の日常の心のつながりが、大きな災害でも小さな被害に食い止めることができたのだと思います。

もちろん、建物は災害に強い構造にすることはもちろんですが、その災害が発生したときの人々の行動は、それ以上に大切なことであり、その仕組みを構造として作り上げておかないと、いざという時に対応しきれなくなってしまうのだと思います。

最後に、避難所に避難してきた住民より、もっと多くのマスコミの人達の執拗なインタビューには嫌気がさしたと言っておられました。

今月の写真紹介

あわら市田中々

社会福祉法人聖徳園 小規模多機能型介護施設



この施設はあわら市東温泉地区にあり、保育所、児童館、母子寮など福祉の総合施設の中にあり、子供たちとの関係を重視したお年寄りのサービス施設です。小規模多機能型の施設としてサービスサービスのほかにショートステイや、将来はグループホームも併設できるように計画されています。



併設できるように計画されています。

中庭は全面がウッドデッキになっていて、車椅子でも出られるようになっていています。明るい日差しを浴びてのんびり日光浴

を楽しまれているお年寄りがいました。隣の保育所の園児たちと一緒に遊びながら、一日の楽しいひとときを過しているようでした。

家族の健康を考えている 奥様に知ってほしい！

家を新築した時に、この磁気活水器を取り付けました。半年が経ちその間に2人目の子供が生まれました。

以前よりお風呂に入ったときのチクチク感は子供にとって悪いんじゃないかと気になっていましたが、しょうがないこととあきらめていました。最近生まれたばかりの息子をお風呂に入れるとき、一番風呂のチクチクした刺激がないことに気づき、安心してお風呂に入れるこ

とが出来ます。時々実家に帰って入浴する時に、特に実感として感じるようになりました。

そう思うようになると、例年の夏は煮出し用麦茶を使いますが、今年は水出し用麦茶を使ってもとってもおいしく飲めました。

三国町緑ヶ丘 山村裕子様



磁気活水器（プレシャスウォーター）耐久年数60年 300,000円（取付、税共）

私たちは家を建てるのが仕事ですが、今の子供たち（私たちも同じですが）を見ていると、生活全てが自分たちの意志に関係なく不健康なものになっています。建築関係の私たちができるのは、せめて住むところと、飲む水を健康なものにしてあげるくらいです。心身共に健康な子供たちにしてあげたいですね。

子育て世代の健康住宅作りを応援します

有限会社 石丸ハウスセンター

一級建築士事務所

TEL 82-5533

FAX 82-5537

〒913-0044 福井県坂井市三国町山王4丁目5-

ホームページ <http://ishimaru-housecenter.co.jp>

イベント案内

冷暖房で無駄なお金を

使いたくない人のための

家づくりセミナー

12/1(土) PM1:30~3:30

北電 エルフプラザ福井 にて